

<対策のポイント>

物流の2024年問題に対応した**花き流通の効率化や高度化、産地の課題解決に必要な技術導入**を支援するとともに、減少傾向にある花き需要の回復に向けて、**需要拡大が見込まれる品目等への転換、新たな需要開拓、花き利用の拡大に向けたPR活動等**の前向きな取組を支援します。

<事業目標>

花き産出額の増加（3,687億円〔平成29年〕→4,500億円〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 花き流通の効率化の取組

ホームユース等の多様な需要や物流の2024年問題に対応するため、**受発注データのデジタル化、流通の効率化・高度化に資する検討や技術実証等**を支援します。

2. ホームユース需要等に対応した品目等の転換の取組

需要が見込まれる品目等への転換に必要な転換先品目の需要調査、栽培技術実証、栽培マニュアルの作成等を支援します。

3. 新たな需要開拓・消費拡大の取組

① ホームユース需要等の更なる拡大のための全国的な普及活動

需要拡大が見込まれるホームユース向けに適した利用スタイルの提案、需要喚起のための**全国的な国産花きのPR活動、実証等**を支援します。

② 新たな需要開拓、需要拡大の取組

国産花きの**新規購買層のニーズ**に対応した商品開発、販路開拓、商談会の開催、社会人の花き利用の拡大を目的とした**実証やPR活動等**を支援します。

4. 生産技術の高度化・産地体制の強化等の取組

生産性向上、低コスト化など**花き産地の課題解決に資する検討や実証、国際認証取得など産地体制の強化に資する研修会開催等**を支援します。

流通の効率化



- 受発注データ等のデジタル化
- パレット・台車等輸送基盤の標準化
- 流通効率化に向けた検討会開催 等

生産体制の強化



- 需要拡大が見込まれる品目への転換
- 生産性向上に資する技術の実証
- 栽培技術向上マニュアルの作成 等

需要変化に対応した販路開拓



- ネット取引、サブスクリプション等の販売方法の検討
- ホームユース等に適した利用スタイルの提案
- 異業種等の連携による新販路開拓 等

花き利用の拡大



- 花き利用に関するセミナーや展示会
- 花きの消費拡大に資する実証やPR活動
- 新規購入層開拓に向けた園芸体験 等

需要変化等に対応した生産・流通・販売体制の強化
日常生活等での花き利用の定着による消費拡大

<事業の流れ>

